公益財団法人愛知県文化振興事業団

令和３年度事業報告

令和３年度事業報告　目次

Ⅰ　令和３年度事業総括　3

Ⅱ　公益目的事業　4

１　芸術劇場、アートスペースの管理運営　4
芸術劇場の状況
アートスペースの状況

２　自主事業の企画制作　5
公演事業
人材養成事業
普及啓発事業

３　愛知芸術文化センターの管理運営等　２３
広報・マーケティング
アートプラザの運営
施設管理・防災
他団体との連携・交流

Ⅲ　収益事業　２８
ミュージアムショップ
アートショップ
プレイガイド

Ⅳ　法人運営　２９
理事会・評議員会の開催状況
組織体制

Ⅴ　資料　３１

Ⅰ　令和３年度事業総括

公益財団法人愛知県文化振興事業団は、平成４年に設立以来、個性豊かな地域文化の振興を図り世界に開かれた魅力ある愛知づくりに寄与するため、愛知県や文化芸術関係機関・団体等との連携の下、各種の文化芸術事業を実施してきました。また、平成 26 年度からは、愛知芸術文化センターの指定管理者として、芸文センター全体の施設管理や、愛知県芸術劇場等の運営を行っています。

令和３年度は、前年度から続く新型コロナウイルス感染拡大の状況により、文化芸術活動は多大な影響を受けましたが、愛知県と緊密に連絡をとりながら、コロナ禍における新しい生活様式に十分配慮し、常にお客様・ご利用者様の目線に立って、安全かつ快適な環境づくりとサービスの一層の向上を目指し、県民の皆様に安心して文化芸術を楽しんでいただけるよう努めました。

芸文センターの管理運営では、国や愛知県等のガイドラインをベースとしつつ、当劇場や県内劇場関係者の意見も参考にして、令和２年度に策定した愛知県芸術劇場独自のガイドラインを、適宜改定して対応しました。手指消毒剤の設置、抗菌コートの施工、足元サインによるソーシャルディスタンスの確保などを始めとした基本的な感染症対策の他、愛知県と調整の上、コロナ禍拡大防止のために利用をキャンセルした場合の施設利用料金を全額返還する等の対応も行いました。

自主事業では、文化庁「劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業」に採択された「劇場による地域文化向上プロジェクト」に基づき、家族で楽しめる「ファミリー・プログラム」、質の高い多彩なジャンルを展開する「愛知芸文フェス」、先駆的・実験的で創造性に満ちた「ミニセレ(Mini Theater Selection)」の３つの柱を軸に、勅使川原三郎芸術監督の下、質の向上や情報発信に努めました。

コロナ禍にあって、やむなく中止した事業もありましたが、その一方で、事業内容の見直しやオンラインの活用という工夫を重ね、勅使川原三郎芸術監督のダンス公演を始め多種多様な公演を開催するとともに、舞台芸術を担う人材の養成や、障がいのある方や在住外国人など劇場に来場しにくい方向けのワークショップ等による普及啓発などに取り組みました。

Ⅱ　公益目的事業

文化芸術の振興を図り、心豊かな県民生活及び活力ある地域社会の実現に寄与する場と機会を提供する事業として、愛知県芸術劇場の管理運営、舞台芸術公演・人材養成・普及啓発活動を展開しました。また、芸文センター全体の広報や催事室（アートスペース）・アートプラザの管理運営、及び愛知県美術館を含む芸文センター全体の施設管理を行いました。

１　芸術劇場、アートスペースの管理運営

当事業団では、愛知県芸術劇場各ホール及びアートスペースの利用許可や利用打合せ、技術面・安全面でのサポートなど、利用申請時から公演当日まできめ細やかなサービスを行い、県民の皆様が多彩で質の高い舞台芸術公演を鑑賞する場や創造活動をする場を提供しています。

令和３年度も、緊急事態宣言の発令などがあり、芸術劇場等の管理運営は厳しい状態が続きました。利用率については、前年度より増加し、回復傾向が見られますが、入場者数は利用率ほどの回復は見られず、コロナ以前の 55％程度にとどまっています。

なお、前年度に引き続き、愛知県の方針に基づき、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために利用をキャンセルした場合の施設利用料金は全額返還し、大ホール、コンサートホール及び小ホールの感染症防止対策を講じた上での利用は施設利用料金を 50％減免しました。また、大ホール、コンサートホール、小ホール及びリハーサル室については、利用料金納入期限を施設利用日の６か月前から１か月前に変更するといった対応も実施しました。

１　芸術劇場の状況

令和３年度の芸術劇場の利用状況及びキャンセルの状況は、次のとおりです。

＜芸術劇場の利用状況＞

項目	区分	30 年度	令和元年度	２年度	３年度
利用率（%）	大ホール	－	80.6	24.4	73.0
	コンサートホール	99.0	76.1	43.0	74.4
	小ホール	86.1	71.4	66.0	72.4
入場者数（人）	大ホール	－	287,315	38,400	168,074
	コンサートホール	98,645	227,238	49,601	118,989
	小ホール	28,319	26,998	9,704	15,032
	３ホール合計	126,964	541,551	97,705	302,095

※　30 年度のコンサートホールは、改修明けの平成 30 年 11 月 26 日からの値。
※　令和元年度の大ホールは、改修明けの平成 31 年 4 月 23 日からの値。
※　令和２年度は、4 月 25 日から 6 月 1 日まで臨時休館。

＜芸術劇場の利用許可、キャンセルの状況＞

区　分	利用許可件数　→　キャンセル後の件数				
	4～6 月	7～9 月	10～12 月	1 月～3 月	年間計
大ホール	39 件 → 27 件	31 件 → 21 件	37 件 → 23 件	31 件 → 23 件	138 件 → 94 件
コンサートホール	59 件 → 41 件	55 件 → 38 件	69 件 → 57 件	61 件 → 42 件	244 件 → 178 件
小ホール	31 件 → 20 件	26 件 → 18 件	31 件 → 24 件	25 件 → 20 件	113 件 → 82 件
３ホール合計	129 件→88 件（31.8%）	112 件→77 件（31.2%）	137 件→104 件（24.1%）	117 件→85 件（27.4%）	495 件→354 件（28.5%）

※（　　）内はキャンセル率。
※ 許可した件数であり、公演数や利用日数ではありません。

２　アートスペースの状況

アートスペース（催事室）の令和３年度の利用状況及びキャンセルの状況は、次のとおりです

＜アートスペースの利用状況＞

項　目	区　分	30 年度	令和元年度	2 年度	3 年度
利用率(%)	会議室利用	47.4	54.9	27.5	42.3
	展示室利用	94.3	74.4	37.2	57.7
入場者数(人)	全　体	56,197	109,904	26,174	43,112

※ 30 年度は、改修明けの平成 30 年 7 月 24 日以降の値。
※ 令和 2 年度は、4 月 25 日から 6 月 1 日まで臨時休館。

＜アートスペースの利用、キャンセルの状況＞

区　分	利用許可件数　→　キャンセル後の件数				
	4～6 月	7～9 月	10～12 月	1 月～3 月	年間計
アートスペース	160 件 → 113 件 （29.4%）	131 件 → 94 件 （28.2%）	134 件 → 124 件 （7.5%）	146 件 → 116 件 （20.5%）	571 件 → 447 件 （21.7%）

※（　　）内はキャンセル率。
※ 許可した件数であり、利用日数ではありません。
※ 複数日・複数室利用を１通の許可書で許可している場合、１件で計上しています。

２　自主事業の企画制作

「ファミリー・プログラム」、「愛知芸文フェス」及び「ミニセレ」の３つの柱を軸にラインナップを構成し、音楽、舞踊、演劇等の領域にとらわれないボーダレスな作品にも取り組んでいます。コロナ禍にあって、事業内容の見直しやオンライン配信の活用など、工夫を重ねた公演事業も多く開催しました。また、前年度から引き続き、文化庁の受託事業として、コロナ禍の拡大により失われた文化芸術体験の機会を取り戻すことを目的とした「ジャパン・ライブエール・プロジェクト@あいち」を実施しました。

その一方で、計 13 事業（各実施事業間で重複するもの含む）については、新型コロナウイルス感染症の影響によりやむなく事業を中止しました。

●自主事業等実施状況

事 業 種 別	実　施　状　況		
	コロナ対策を実施して「開催」	事業内容の見直しやオンライン配信による「代替」開催	「中止」
ファミリー・プログラム	7 事業（6 公演）	0 事業（0 公演）	4 事業（33 公演）
愛知芸文フェス	8 事業（18 公演）	0 事業（0 公演）	0 事業（0 公演）
ミニセレ	7 事業（17 公演）	0 事業（0 公演）	2 事業（5 公演）
その他の公演	9 事業（15 公演）	0 事業（0 公演）	4 事業（10 公演）
人材養成事業	13 事業	1 事業	0 事業
普及啓発事業	23 事業	0 事業	3 事業

※各実施事業間で重複するものについては、それぞれ計上しています。

１　公演事業

「ファミリー・プログラム」、「愛知芸文フェス」及び「ミニセレ」の３つの柱を軸にラインナップを構成し、音楽、舞踊、演劇等の領域にとらわれないボーダレスな作品にも取り組みました。

（1）ファミリー・プログラム

家族のためのフェスティバルとして夏休みを中心に企画し、子どもから大人まで世代を越えて楽しめるプログラムを実施して、舞台芸術の持つ様々な魅力を伝え、劇場全体を楽しく魅力ある場所にしようとする事業。

事業名	実施状況	開催日	会場	来場者満足度	来場者数（定員数）
		概要			
芸術監督勅使川原三郎演出 **ダンス『風の又三郎』** 演出・振付・美術・衣装・照明デザイン・音楽編集：勅使川原三郎 アーティスティック・コラボレーター：佐東利穂子 出演：佐東利穂子、オーディションダンサー	開催	7月24日（土） 25日（日） （2公演）	大ホール	－	964人 （各1,038人）
		東海圏のダンサー養成を目的とした公演です。勅使川原三郎芸術監督が構成・演出・振付を務め、地元のバレエ団やフリーで活動するバレエダンサーが出演しました。			
『えんどうまめとおひめさま』 製作・出演：ディブウィク・ダンスカンパニー	中止	7月27日（火） 28日（水） （6公演）	小ホール	－	－
		アンデルセン童話『えんどう豆の上のおひめさま』を下敷きにしたダンスと演劇によるパフォーマンス公演を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりやむなく中止し、物語をモチーフとしたすごろくをウェブ上などで配布しました。			

※来場者満足度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場での紙媒体のアンケートではなく、オンラインアンケートで実施しました。その結果回答率が低くなっており、回答率５％以下のものは記載を省略しています。

事業名	実施状況	開催日	会場	来場者満足度	来場者数(定員数)
		概要			
『えんどうまめとおひめさま』県内ツアー (各市町村劇場と共催)	中止	7月30日(金) (3公演)	半田市福祉文化会館	－	－
		8月1日(日) (2公演)	小牧市味岡市民センター	－	－
		8月5日(木) (2公演)	豊川市音羽文化ホール	－	－
		8月7日(土) (2公演)	あま市美和文化会館	－	－
		8月9日(月･祝) (3公演)	碧南市芸術文化ホール	－	－
		8月12日(木) (3公演)	名古屋市瑞穂文化小劇場	－	－
		8月18日(水) (3公演)	名古屋文理大学文化フォーラム	－	－
		8月20日(金) (3公演)	幸田町民会館	－	－
		アンデルセン童話『えんどう豆の上のおひめさま』を下敷きにしたダンスと演劇によるパフォーマンス公演を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりやむなく中止し、物語をモチーフとしたすごろくをウェブ上などで配布しました。			
【一部オンライン開催】げきじょうたんけんツアー	開催	7月30日(金) (4回)	コンサートホール、オンライン	98.8%	93人 (80人) ｵﾝﾗｲﾝ配信観覧数632回 (3月末現在)
		小学校低学年を対象に、劇場運営スタッフ扮する探検隊と一緒にコンサートホールの裏側をめぐるツアーを行いました。劇場開催のほか、オンライン配信用に収録した動画も8月26日からYouTubeにて配信しました。			
キッズ・音楽ワークショップ おもしろいコトをやろう！ ファシリテーター： 八木美知依	開催	8月3日(火) 4日(水) (1回)	中リハーサル室	85.0%	22人 (20人)
		小学校高学年の児童を対象とした音楽ワークショップを実施しました。			

事業名	実施状況	開催日	会場	来場者満足度	来場者数(定員数)
		概要			
チェコ・アルファ劇場『快傑ゾロ』 演出：トマーシュ・ドヴォジャーク (特定非営利活動法人愛知人形劇センター、一般財団法人ちりゅう芸術創造協会と共催)	中止	①8月4日(水) ②8月24日(火) 25日(水) （2公演）	①パティオ池鯉鮒 ②小ホール	－	－
		チェコの伝統的なマリオネットが繰り広げる人形劇を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりやむなく中止しました。			
『よちよちの部屋』 製作・出演：ディブウィク・ダンスカンパニー	中止	8月5日(木) （3公演）	大リハーサル室	－	－
		ノルウェーのダンス・カンパニー、ディブウィク・ダンスカンパニーによる、乳幼児向けのパフォーマンスを開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりやむなく中止しました。			
日生劇場ファミリーフェスティヴァル2021 **物語付きクラシックコンサート** **『アラジンと魔法の歌』** 指揮：岩村力 出演：又吉秀樹、岡田誠　ほか 管弦楽：愛知室内オーケストラ （ニッセイ文化振興財団と共催）	開催	8月14日(土) （1公演）	大ホール	96.2%	1,091人 (1,188人)
		日生劇場が制作する毎年大人気のシリーズ。個性豊かなキャラクターたちと一緒に、フルオーケストラの演奏やユニークなお芝居を家族全員でお楽しみいただけるクラシック音楽コンサートを開催しました。			
赤ちゃんと踊ろう（ママ編・パパ編） ファシリテーター：プロジェクト大山	開催	8月21日(土) 22日(日) （3回）	大リハーサル室	100%	30人 (各20人)
		赤ちゃんと一緒に踊りながら、パパ・ママ同士も交流できるダンス・ワークショップを実施しました。			
キッズ・ダンスワークショップ **妖怪になって踊ろう！** ファシリテーター：プロジェクト大山	開催	8月21日(土) （1回）	大リハーサル室	90.9%	11人 (20人)
		小学校高学年の児童を対象としたダンス・ワークショップを実施しました。			

事業名	実施状況	開催日	会場	来場者満足度	来場者数(定員数)
		概要			
THE オルガン NIGHT&DAY 2021 オルガン：米山麻美 打楽器：井上さより(DAY のみ)	開催	NIGHT 8 月 25 日(水) （1 公演） DAY 8 月 26 日(木) （2 公演）	コンサートホール	91.9%	NIGHT 427 人 （820 人） DAY 1,047 人 （各 790 人）
		「短めのプログラム」「出かけやすい時間」「ワンコイン」と“手軽さ”を追求したパイプオルガンコンサートを開催しました。終演後には、オルガンの耳より講座や映像を使ったオルガン見学会も実施しました。			
合計　7 事業 6 公演（うちオンライン配信 1 事業）、中止 4 事業					3,685 人 ｵﾝﾗｲﾝ視聴 632 回

（2）愛知芸文フェス

愛知芸術文化センターの開館記念日（10 月 30 日）を中心に、多彩なジャンルの作品を楽しむことができるフェスティバルを開催し、質の高い舞台芸術公演等を集中的に上演する事業。

事業名	実施状況	開催日	会場	来場者満足度	来場者数(定員数)
		概要			
【ジャパン・ライブエールプロジェクト】 **トライアド・ダンス・プロジェクト** **安藤洋子×酒井はな×中村恩恵** **『ダンスの系譜学』** （ダンス・ベース・ヨコハマと共催）	開催	10 月 1 日(金) ～3 日(日) （3 公演）	小ホール	97.5%	301 人 (539 人)
		日本のダンス界を牽引する 3 人の女性ダンス・アーティストによる、旧作から新作までのプログラムを通してダンスの歴史を紐解く特別公演を開催しました。			
向井山朋子『KUMANO』 コンセプト・ピアノ・映像・インスタレーションほか：向井山朋子 映像・インスタレーション・照明：レニエ・ファン・ブルムレン （向井山朋子ファンデーション、一般社団法人マルタスと共催）	開催	10 月 22 日(金) 23 日(土) （2 公演）	小ホール	100%	176 人 (各 144 人)
		オランダ・アムステルダムを拠点に活動するピアニスト・美術家の向井山朋子による、和歌山県熊野などで撮影した映像を 360 度投影した幻想的な空間でのコンサートを開催しました。			

事業名	実施状況	開催日	会場	来場者満足度	来場者数(定員数)
		概要			
NISSAY OPERA 2021 **プッチーニ作曲　オペラ『ラ・ボエーム』** 指揮：園田隆一郎　演出：伊香修吾 管弦楽：名古屋フィルハーモニー交響楽団 （ニッセイ文化振興財団と共催）	開催	10月30日(土) （1公演）	大ホール	84.2%	556人 (1,662人)
		近年、オペラ、シンフォニーの両分野で国際的に活躍する園田隆一郎が指揮者を務め、19世紀のパリを舞台に繰り広げる音楽と儚い恋の物語が特徴的なプッチーニ（イタリア）の人気オペラの公演を行いました。			
栄北まちなか展開連携事業 **『久屋ぐるっとアート2021』** (オアシス21始め22団体と共催)	開催	11月3日(水・祝) ～11月7日(日)	久屋エリア一帯	－	のべ 12,735人
		オアシス21や名古屋テレビ塔など、栄北地域の文化施設や商業施設等と連携し、音楽、ダンス、美術、映画、グルメ等を気軽に楽しめるミニフェスティバルを開催しました。			
【ジャパン・ライブエールプロジェクト】 **『久屋ぐるっとアート2021連携プロジェクト』** **①クラウン・マイム『La Strada』** **人形劇『かぐやひめ』** **②金管五重奏演奏会**	開催	①11月6日(土) （2公演） ②11月6日(土) 7日(日) （4公演）	①ビデオルーム ②Hisaya-odori Park	－	上記のうち ①64人 ②1,000人
		文化庁の支援を受けた日本芸能実演家団体協議会との共催で、コロナ対策を講じながらライブの醍醐味を実感できる機会を設けました。			
【一部オンライン開催】 **第19回AAF戯曲賞受賞記念公演** **『ねー』** 作：小野晃太朗 演出：今井朋彦	開催	11月21日(日)～ 23日(火・祝) （4公演） ｵﾝﾗｲﾝ配信：3月14日(月)～28日(月)	小ホール、オンライン	96.7%	323人 (各116人) ｵﾝﾗｲﾝ配信ﾁｹｯﾄ購入者 65人
		ひたすら悪化していく状況下で生きる若い人々と、暗躍する既得権益の集団を描いたファンタジーを舞台化した、第19回AAF戯曲賞受賞作品の上演を行いました。また、動画配信プラットフォーム「観劇三昧」にてオンライン配信しました。			
愛知県立芸術大学管弦楽団 **第32回定期演奏会** 指揮：飯守泰次郎 管弦楽：愛知県立芸術大学管弦楽団 （愛知県立芸術大学と共催）	開催	11月26日(金) （1公演）	コンサートホール	－	747人 (794人)
		東海地方唯一で全国的にも数少ない公立芸術大学のオーケストラによる定期演奏会を開催しました。指揮は、東京シティ・フィル桂冠名誉指揮者であり、紫綬褒章、毎日芸術賞なども受賞した飯守泰次郎が務めました。			

事業名	実施状況	開催日	会場	来場者満足度	来場者数（定員数）
		概要			
NHK 交響楽団定期演奏会 **（愛知県芸術劇場シリーズ）** 指揮：ファビオ・ルイージ ヴァイオリン：フランチェスカ・デゴ 管弦楽：NHK 交響楽団 （NHK 名古屋放送局と共催）	開催	11 月 28 日（日） （1 公演）	コンサートホール	99.6%	1,527 人 (1,660 人)
		世界でトップレベルのオーケストラの定期演奏会を開催しました。指揮は、メトロポリタン・オペラやウィーン交響楽団で主席指揮者を務めた実績があり、2020 年 1 月の定期公演でも絶賛されたファビオ・ルイージが務めました。			
合計　8 事業 18 公演					16,365 人 ｵﾝﾗｲﾝ購入 65 人

（3）ミニセレ ―Mini Theater Selection―

現代音楽、コンテンポラリーダンス、演劇など、様々な領域の同時代の作品を上演する。小ホールの特徴を活かして先駆的・実験的な作品を上演することで、新しい芸術や新しい劇場ファン層をさらに広げる事業。

事業名	実施状況	開催日	会場	来場者満足度	来場者数（定員数）
		概要			
ヌトミック＋細井美裕 **『波のような人』** **マルチチャンネルスピーカーと俳優のための演劇作品** 作・演出・音楽：額田大志 サウンドデザイン：細井美裕 原案：フランツ・カフカ　『変身』 （ヌトミックと共催）	開催	4 月 27 日（火） 28 日（水） （3 公演）	小ホール	92.3%	214 人 （各 101 人）
		俳優やダンサー、ミュージシャンなど異なるパフォーマーを起用し、ボーダレスな演出を得意とする額田大志率いる演劇カンパニーヌトミックが、音楽家の細井美裕を迎え、俳優やスピーカーを出演者にした不条理劇の上演を行いました。			
八木美知依・箏の世界 21 絃箏･17 絃箏･エレクトロニクス･歌：八木美知依 コントラバス・チェロ：須川崇志	開催	5 月 22 日（土） （1 公演）	小ホール	100%	130 人 (165 人)
		愛知県出身で日本の伝統楽器「箏」を用いて国際的に躍進を続ける八木美知依が、ゲストの須川崇志（コントラバス・チェロ）も交え、伝統楽器の枠を超えたリサイタルを開催しました。			
マレビトの会 **『グッドモーニング』** 作・演出：松田正隆 （マレビトの会と共催）	中止	9 月 18 日（土） 19 日（日） （2 公演）	小ホール	－	－
		様々な演劇の可能性を模索している集団「マレビトの会」主催の松田正隆が、ドイツを訪れ見聞きした内容から書き上げた長編新作を上演予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりやむなく中止しました。			

<table>
<tr><th rowspan="2">事業名</th><th rowspan="2">実施状況</th><th>開催日</th><th>会場</th><th>来場者満足度</th><th>来場者数
(定員数)</th></tr>
<tr><th colspan="4">概要</th></tr>
<tr><td>【再掲】
【ジャパン・ライブエールプロジェクト】
トライアド・ダンス・プロジェクト
安藤洋子×酒井はな×中村恩恵
『ダンスの系譜学』
（ダンス・ベース・ヨコハマと共催）</td><td>開催</td><td>10 月 1 日(金)
～3 日(日)
（3 公演）</td><td>小ホール</td><td>97.5%</td><td>301 人
(539 人)</td></tr>
<tr><td>【再掲】
向井山朋子『KUMANO』
コンセプト・ピアノ・映像・インスタレーションほか：向井山朋子
映像・インスタレーション・照明：レニエ・ファン・ブルムレン
（向井山朋子ファンデーション、一般社団法人マルタスと共催）</td><td>開催</td><td>10 月 22 日(金)
23 日(土)
（2 公演）</td><td>小ホール</td><td>100%</td><td>176 人
(各 144 人)</td></tr>
<tr><td>【再掲】【一部オンライン開催】
第 19 回 AAF 戯曲賞受賞記念公演
『ねー』
作：小野晃太朗
演出：今井朋彦</td><td>開催</td><td>11 月 21 日(日)
～23 日(火・祝)
（4 公演）
ｵﾝﾗｲﾝ配信：3 月 14 日(月)～28 日(月)</td><td>小ホール、
オンライン</td><td>96.7%</td><td>323 人
(各 116 人)
ｵﾝﾗｲﾝ配信
ﾁｹｯﾄ購入者
65 人</td></tr>
<tr><td rowspan="2">【ジャパン・ライブエールプロジェクト】
愛知県芸術劇場×Dance Base Yokohama
DaBY アソシエイトコレオグラファー
鈴木竜 トリプルビル
演出・振付・ダンス：鈴木竜
（ダンス･ベース･ヨコハマと共催）</td><td rowspan="2">開催</td><td>12 月 3 日(金)
～5 日(日)
（3 公演）</td><td>小ホール</td><td>100%</td><td>383 名
(各 160 人)</td></tr>
<tr><td colspan="4">プロフェッショナルなダンス環境の整備やクリエーター育成に特化した事業を企画・運営する「Dance Base Yokohama」でアソシエイトコレオグラファーを務める鈴木竜が、若手クリエーターたちと創り上げる新作を上演しました。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">Organ Works「ひび割れの鼓動」</td><td rowspan="2">中止</td><td>2 月 4 日(金)
～6 日(日)
（3 公演）</td><td>小ホール</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="4">様々なジャンルのアーティストと共に舞踊表現を模索してきた平原慎太郎が主宰する Organ Works による、ギリシャ演劇の手法を用いた最新作を上演予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりやむなく中止しました。</td></tr>
</table>

事業名	実施状況	開催日	会場	来場者満足度	来場者数(定員数)
		概要			
サウンドパフォーマンス・プラットフォーム 2022「音と動きを解放する」	開催	2 月 27 日(日) （1 公演）	小ホール	83.3%	131 名 (156 人)
		音の新たな表現にチャレンジする実験的なライブ・パフォーマンスとして、ゲストアーティストと審査によって選ばれる公募アーティストにより、音と身体を核としたジャンルにとらわれないオリジナリティ溢れる作品を上演しました。			
合計　7 事業 17 公演（うち再掲　3 事業 9 公演）、中止 2 事業					1,658 人 ｵﾝﾗｲﾝ購入 65 人

（4）その他の公演

愛知県芸術劇場ならではのオルガンコンサートやN響定期公演等をコンサートホール等で行う事業。また、文化庁受託事業として、ジャパン・ライブエール・プロジェクトを実施した。

事業名	実施状況	開催日	会場	来場者満足度	来場者数(定員数)
		概要			
オルガン・アワー **～音のシャワーで心リフレッシュ～** 出演：都築由理江 （愛知県芸術劇場オルガニスト）	開催	6 月 18 日(金) （2 公演）	コンサートホール	97.8%	845 人 (各 1,094 人)
		オルガン初級者の方にも聴きやすい約 1 時間のコンサート。オルガンの音色で身も心もリフレッシュいただけるよう、当劇場オルガニストの都築由理江が週末に名曲の数々を演奏しました。			
イスラエル・ガルバン **『春の祭典』** ダンス：イスラエル・ガルバン ピアノ：片山柊、増田達斗	開催	6 月 23 日(水) 24 日(木) （2 公演）	コンサートホール	98.9%	869 人 (各 726 人)
		フラメンコの革命児と称されるガルバンが 2 人のピアニストと共に、ストラヴィンスキーの音楽の根源に迫るダンスの公演を行いました。			
勅使川原三郎新作ダンス公演 **勅使川原三郎版『羅生門』** 振付・演出・美術・照明・衣装・音楽構成：勅使川原三郎 出演：勅使川原三郎、佐東利穂子、　アレクサンドル・リアブコ	開催	8 月 11 日(水) （1 公演）	大ホール	95.0%	302 人 (1,150 人)
		芥川龍之介の文学を外国人ダンサーと共にダンスで表現する、挑戦的な取り組みを行いました。2020 年度に小ホールで開催した芸術監督就任記念シリーズから、規模が大きいホールに舞台を移して開催しました。			

事業名	実施状況	開催日	会場	来場者満足度	来場者数(定員数)
		概要			
ナタリア・オシポワ/メリル・タンカード **『Two Feet』** 演出・振付：メリル・タンカード 出演：ナタリア・オシポワ	中止	9 月 10 日(金) 11 日(土) （2 公演）	大ホール	－	－
		海外著名ダンサー・カンパニーの招聘公演として、ピナ・バウシュのヴッパダール舞踊団で活躍したタンカードが、英国ロイヤルバレエ団プリンシパルのナタリア・オシポワに振付けた作品を上演予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりやむなく中止しました。			
オルガニスト養成プログラム **修了試演会（上半期）** 演奏者 6 名	開催	9 月 12 日(日) （1 公演）	コンサートホール	－	124 人 (258 人)
		半年間、オルガンに取り組んできた受講生の成果を披露する演奏会を開催しました。			
【ジャパン・ライブエールプロジェクト】 **『あいちオーケストラフェスティバル』** ①中部フィルハーモニー交響楽団 ②セントラル愛知交響楽団 ③愛知室内オーケストラ ④名古屋フィルハーモニー交響楽団 (②はサラマンカホール、③は長久手市、④は NPO たけとよ、武豊町教育委員会と共催)	開催	① 10 月 15 日(金) ② 11 月 4 日(木) ③ 11 月 21 日(日) ④ 1 月 7 日(金) （各 1 公演）	①コンサートホール ②サラマンカホール ③長久手市文化の家 ④ゆめたろうプラザ	－	① 540 人 (900 人) ② 331 人 (351 人) ③ 306 人 (336 人) ④ 326 人 (333 人)
		様々な地域において文化芸術への関心と熱意を取り戻すイベント「ジャパン・ライブエールプロジェクト@あいち 2021」の一環として、愛知県を代表する 4 つのプロ・オーケストラによる特別演奏会を行いました。			
クリスマスはオルガンだ！2021 オルガン：梅干野安未 ヴァイオリン：正戸里佳	開催	12 月 22 日(水) （2 公演）	コンサートホール	―	1,645 人 (各1,169 人)
		日本各地のコンサートホールや教会をはじめ、フランスのノートルダム大聖堂等で演奏会を行なった実績のある梅干野安未が、クリスマスにちなんだ楽曲を演奏しました。毎年、演奏者の手元・足元を大型スクリーンに投影する演出が好評を博しています。			
『小さな島とエヴァ』 製作・出演：テラッピン・パペットシアター 出演：川上珠来	中止	1 月 （6 公演）	小ホール、県外 2 カ所 (四日市、津)	－	－
		2018 年に愛知県内 8 か所をツアーし多くの家族に鑑賞いただいたビジュアル朗読劇の招へいツアー公演を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりやむなく中止しました。			

事業名	実施状況	開催日	会場	来場者満足度	来場者数(定員数)
		概要			
オハッド・ナハリン/バットシェバ舞踊団『HORA』 振付・演出：オハッド・ナハリン ダンス：バットシェバ舞踊団	中止	1 月 30 日(日) （1 公演）	大ホール	－	－
		イスラエルを代表するコンテンポラリー・ダンスカンパニーで芸術監督を務めたオハッド・ナハリンの新作を上演予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりやむなく中止しました。			
藤原歌劇団公演『イル・トロヴァトーレ』 指揮：山下一史　演出：粟國淳 出演：小林厚子、笛田博昭、須藤慎吾　ほか 管弦楽：セントラル愛知交響楽団 (公益財団法人日本オペラ振興会と共催)	開催	2 月 5 日(土) （1 公演）	大ホール	92.0%	753 人 (1,262 人)
		日本で最も歴史のあるオペラ団体、藤原歌劇団の愛知公演第 5 弾を、山下一史の指揮、粟國淳の演出により、ヴェルディ中期の傑作を上演しました。			
フランソワ・エスピナス　オルガン・スペシャルコンサート	中止	2 月 16 日(水) （1 公演）	コンサートホール	―	―
		ヴェルサイユ宮殿王室礼拝堂首席オルガニスト、フランソワ・エスピナスによるコンサートを実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりやむなく中止しました。			
オルガニスト養成プログラム修了試演会（下半期） 演奏者 7 名	開催	3 月 10 日(木) （1 公演）	コンサートホール	―	40 人 (258 人)
		半年間、オルガンに取り組んできた受講生の成果を披露する演奏会を開催しました。			
オルガン・レクチャーコンサート 演奏・解説：椎名雄一郎	開催	3 月 25 日(金) （1 公演）	コンサートホール	91.5%	674 人 (1,474 人)
		分かりやすい解説とその演奏の実力から全国的な人気を誇り、2019 年度も好評だったオルガニストによる、映像を交えたレクチャーコンサートを実施しました。			
合計　9 事業 15 公演、中止 4 事業					6,755 人

２　人材養成事業

若手芸術家や文化芸術団体等に活動発表の場を提供したほか、地域の劇場や大学等と連携し、インターンシップから専門職員のスキルアップまで、様々なニーズに応えられるプログラムを実施し、舞台芸術を担う人材を養成する事業。

事業名	実施状況	開催日	会場	参加者数（募集定員）
		概要		
愛公文セミナー （愛知県公立文化施設協議会と共催）	開催	①5 月 20 日(木) ②7 月 8 日(木) ③10 月 14 日(木) （3 回）	アート スペースＡ	① 17 館 23 名 ② 17 館 28 名 ③ 13 館 26 名
		ホール新任職員向けのセミナーを愛知県公立文化施設協議会と共催で開催しました。		
第 19 回 AAF 戯曲賞受賞記念公演『ねー』出演者オーディション	開催	5 月 3 日(月・祝) ～5 月 6 日(木)	小ホール、 ウィルあいち	参加者 91 名 うち 19 名選抜
		第 19 回 AAF 戯曲賞受賞記念公演の出演者を広く募り、オーディションを行いました。		
【公開審査会オンライン同時中継】第 21 回 AAF 戯曲賞募集・選考・公開最終審査会	開催	①作品募集 6 月 1 日（火） ～7 月 31 日(土) ②公開最終審査会 1 月 23 日(日)	②アート スペースＡ、 オンライン	① 応募作品数 117 作品 ② 公開審査会 観覧者　9 人 （50 人） YouTube 中継 アクセス数 744 (最大同時視聴 81)
		「戯曲とは何か？」を考える戯曲賞の募集・選考・審査を行いました。		

事業名		実施状況	開催日 概要	会場	参加者数 (募集定員)
アーティスト人材養成事業	**(1)オルガニスト養成プログラム** **「集まれ、未来のオルガニスト」** **① 長期コース（上半期）** **② 長期コース（下半期）** **③ 短期コース**	開催	① 4 月 13 日(火) ～9 月 8 日(水) (全 6 回) ② 10 月 12 日(火) ～3 月 9 日(水) (全 6 回) ③ 7 月 27 日(火) 8 月 9 日(月･祝) 8 月 19 日(木)	コンサートホール	① 6 人 ② 8 人 ③ 7 人 (各 6 人)
	(2)振付家・ダンサー養成プログラム **勅使川原三郎振付ダンス公演** **宮沢賢治『風の又三郎』出演者稽古**	開催	4 月 13 日(火) ～6 月 5 日(土) (うち 7 日間)、 3 月 1 日(火) ～3 日(木)	大リハーサル室	11 人 14 人
	【オンライン開催】 **(3)舞台芸術ワークショップファシリテーター養成プログラム** **愛知県芸術劇場広場ラボ** **オンラインミーティング「アートは生きる力？～今、何ができるか改めて考える～」** (舞台芸術人材養成ラボ(4) 舞台芸術ワークショップファシリテーター養成プログラムと共同開催)	代替開催	9 月 21 日(火)、 23 日(木・祝) (2 回)	オンライン	9 人 11 人 (各 20 人)
	(4)アーティストと社会をつなぐ広場ラボ「アートを生きる力にするための場づくり～鑑賞から創造へ～」 (舞台芸術人材養成ラボ(6)アーティストと社会をつなぐ広場ラボと共同開催)	開催	3 月 20 日(日) 21 日(月･祝)	アートスペースA、大リハーサル室	8 人 (20 人)
	(5)愛知県芸術劇場合唱団 **イタリア語ディクション訓練**	開催	2 月 27 日(日) 3 月 5 日(土) 3 月 15 日(火)	中リハーサル室	39 人 (40 人)
	アーティスト人材養成のための講座やワークショップを系統立てて整理し実施しました。オルガニスト養成プログラムについては、通年実施へと移行するなど、ニーズに応えられるよう努めました。				

事業名		実施状況	開催日	会場	参加者数(募集定員)
			概要		
舞台芸術人材養成ラボ	(1) 舞台芸術インターンシップ ①企画制作コース ②舞台技術コース	開催	6 月～3 月	小ホールほか	①6 人 ②7 人 (各 5 人)
	(2)①学生インターンシップ ②舞台芸術お仕事ナビ	開催	① 7 月 28 日(水) ～30 日(金) ② 8 月 28 日(土)	①アートスペースＡほか ②アートスペースＡ	①36 人 (20 人) ②35 人 (50 人)
	【一部オンライン同時開催】 (3)劇場職員セミナー (愛知県、名古屋市、名古屋市文化振興事業団と共催)	開催	1 月 19 日(水) ～21 日(金) (3 日間)	アートスペースＡほか、オンライン	のべ 501 人 ｵﾝﾗｲﾝ受講者 のべ 132 人
	【再掲】【オンライン開催】 (4)舞台芸術ワークショップファシリテーター養成プログラム 愛知県芸術劇場広場ラボ オンラインミーティング「アートは生きる力？～今、何ができるか改めて考える～」 (アーティスト人材養成事業(3)舞台芸術ワークショップファシリテーター養成プログラムと共同開催)	開催	9 月 21 日(火)、 23 日(木・祝) (2 回)	オンライン	9 人 11 人 (各 20 人)
	【一部オンライン開催】 (5)舞台芸術創造セミナー 「パフォーミングアーツ映像撮影ワークショップ」	開催	2 月 11 日(金･祝)、 12 日(土)、 24 日(木)、 3 月 8 日(火)、 13 日(日)	アートスペースＡ、オンライン	8 人 (10 人)
	【再掲】 (6)アーティストと社会をつなぐ広場ラボ「アートを生きる力にするための場づくり～鑑賞から創造へ～」 (アーティスト人材養成事業(4)アーティストと社会をつなぐ広場ラボと共同開催)	開催	3 月 20 日(日) 21 日(月･祝)	アートスペースＡ、大リハーサル室	8 人 (20 人)
	新型コロナウイルス感染症の影響により当初の計画とは異なるものもありましたが、今後舞台芸術の仕事に就きたい学生を対象とするキャリア講座プランなどについて系統立てて実施しました。				
合計　14 事業（うち再掲 2 事業／うちオンライン配信 5 事業）					1,043 人 ｵﾝﾗｲﾝ視聴 744 回

３　普及啓発事業

舞台芸術の魅力や劇場の楽しさに触れてもらう取組みとして、次代を担う子どもたちや一般の方々を対象に、レクチャー、ワークショップ等の様々なプログラムを実施しました。また、対象者別に系統立ててプログラムを構成し、障がいがある方や日本語を母語としない方にも参加していただけるようにしました。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">事業名</th><th rowspan="2">実施状況</th><th>開催日</th><th>会場</th><th>参加者数
(募集定員)</th></tr>
<tr><th colspan="3">概要</th></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">愛知県芸術劇場オープンハウス
①オープンハウス/舞台 SHOW
②劇場見学ツアー</td><td rowspan="2">開催</td><td>5 月 8 日(土)</td><td>大ホール</td><td>①323 人
② 91 人
(90 人)</td></tr>
<tr><td colspan="3">劇場をより身近に感じていただくために、大ホールを無料開放しました。普段は鑑賞する目的で訪れる劇場で、バックヤードツアー等のミニイベントを開催しました。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">スターダンサーズ・バレエ団
「リラックスパフォーマンス」
「白鳥の湖」(全 1 幕)＆「迷子の青虫さん」
演出・振付：鈴木稔
舞台美術：ディック・バード
(文化庁、公益財団法人スターダンサーズ・バレエ団との共催)</td><td rowspan="2">開催</td><td>2 月 23 日(水･祝)</td><td>大ホール</td><td>785 人
(932 人)</td></tr>
<tr><td colspan="3">劇場空間での鑑賞に不安がある方のためにアレンジされ、バレエ鑑賞が初めてのお子様や、自閉症や ADHD の症状などの方々などが、リラックスした雰囲気の中で鑑賞できる公演を実施しました。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">劇場と子ども7万人プロジェクト</td><td>愛知県芸術劇場オペラ鑑賞教室 2021
ニッセイ名作シリーズ 2021
プッチーニ作曲 オペラ
『ラ・ボエーム』
(ニッセイ文化振興財団と共催)</td><td>開催</td><td>10 月 28 日(木)
（1 公演）</td><td>大ホール</td><td>1,464 人
(1,758 人)</td></tr>
<tr><td>愛知県芸術劇場舞台芸術鑑賞教室 2021
『小さな島とエヴァ』(日本人版)
製作：テラッピン・パペットシアター
出演：川上珠来　ほか
日本語版製作：愛知県芸術劇場
(各市ほかと共催)</td><td>開催</td><td>① 1 月 14 日(金)
② 1 月 19 日(水)
③ 1 月 21 日(金)
（各 2 公演）
※③の公演は中止</td><td>① 西尾市文化会館
② 奥三河総合センター
③ 新城市文化会館</td><td>① 524 人
525 人
(各 1079 人)
② 156 人
202 人
(各 438 人)</td></tr>
<tr><td colspan="5">県内の小中学生を本格的なオペラ鑑賞やビジュアル朗読劇鑑賞に招待しました。1 月 21 日(金)に開催を予定していた新城公演については、新型コロナウイルス感染症の影響によりやむなく中止しました。</td></tr>
</table>

事業名		実施状況	開催日	会場	参加者数 (募集定員)
			概要		
高校生ゲネプロ招待 『ねー』		開催	11 月 13 日(土) （1 回）	小ホール	19 人
			将来の観客層を育成するために、ゲネプロへの参加を希望する高校生を無料招待しました。		
乳幼児と保護者のためのプログラム	【再掲】 赤ちゃんと踊ろう（ママ編・パパ編） ファシリテーター：プロジェクト大山	開催	8 月 21 日(土) 22 日(日) （3 回）	大リハーサル室	6 人 16 人 8 人 (各 10 人)
	【再掲】 THE オルガン DAY 2021 幼児向け オルガン：米山麻美 打楽器：井上さより	開催	8 月 26 日(木) （1 公演）	コンサートホール	477 人 (790 人)
	【再掲・中止】 『よちよちの部屋』 製作・出演：ディブウィク・ダンスカンパニー	中止	8 月 5 日(木) （3 公演）	大リハーサル室	-
	【一部オンライン開催】 多文化子育てサロン・ワークショップ 『赤ちゃんと一緒にダンス！』 ファシリテーター：プロジェクト大山 (愛知県と共催)	開催	① 11 月 13 日(土) ② 11 月 14 日(日) ③ 1 月 15 日(土) （各 1 回）	① 乙川北部記念館(半田) ② 愛三文化会館(大府) ③ オンライン(豊田)	①10 組 28 人(12 組) ②14 組 37 人(15 組) ③20 組 52 人
	未就学児連れで参加できるワークショップとコンサートを開催しました。				
入門者のためのプログラム	えんげきリビング番外編 ～AAF 戯曲賞大賞作品『ねー』を読んでみる～	開催	11 月 7 日(日) （1 回）	名古屋市青少年文化センター	10 人 (15 人)
	愛知県図書館での講座	中止	-	-	-
	バットシェバ関連 GAGA ダンスワークショップ	中止	-	-	-
	初めて劇場に来る方にも舞台芸術に楽しみを見出していただける講座等を予定していましたが、一部は新型コロナウイルス感染症の影響によりやむなく一部中止しました。				

事業名		実施状況	開催日	会場	参加者数 (募集定員)
			概要		
より深く楽しみたいファンを増やすためのプログラム	ヌトミック関連 バックステージツアー	開催	4 月 28 日(水)	小ホール	30 人
	【オンライン開催】 ミニセレ 2021 オンラインシアターミーティング ①ヌトミック ②八木美知依・箏の世界関連 ③【中止】マレビトの会 ④ダンスの系譜学 ⑤KUMANO ⑥ねー ⑦鈴木竜トリプルビル ⑧サウンドパフォーマンスプラットフォーム	開催	①4 月 29 日(木) ②5 月 23 日(日) ③－ ④10 月 4 日(月) ⑤10 月 24 日(日) ⑥11 月 24 日(水) ⑦12 月 5 日(日) ⑧2 月 28 日(月)	オンライン	① 24 人 ② 4 人 ③ －人 ④ 26 人 ⑤ 7 人 ⑥ 31 人 ⑦ 19 人 ⑧ 18 人
	【オンライン開催】 鑑賞&レビュー講座 2021 オンライン・ゼミ 前期：基礎知識編 ①演劇レビューを書くために ②ダンスレビューを書くために ③演劇と空気 ④ダンスの歴史と現状 ⑤（鑑賞＆レビュー執筆）「羅生門」 ⑥レビューを推敲する 後期：実践編 ナビゲーター：岡見さえ（ダンス批評家）、徳永京子（演劇ジャーナリスト）	開催	① 6 月 10 日(水) ② 7 月 5 日(月) ③ 7 月 27 日(火) ④ 8 月 2 日(月) ⑤ 8 月 11 日(水) ⑥ 9 月 13 日(月) （各 1 回） 後期：随時	オンライン	①27 人 ②24 人 ③23 人 ④24 人 ⑤13 人 ⑥13 人 後期：19 人
	【オンライン開催】 AAF 戯曲賞関連 ①マレビトの会アーティストトーク ～ラジオ劇作家の昼下がり～ ②第 20 回 AAF 戯曲賞受賞作品『リンチ（戯曲）』を読んでみる	開催	①7 月 14 日(水) ②11 月 25 日(木) 26 日(金) （2 回）	オンライン	① のべ 301 人 ② のべ 59 人

事業名		実施状況	開催日	会場	参加者数（募集定員）
			概要		
	ダンス・スコーレ特別講座シンポジウム 「身体のブリコラージュ」 20 世紀初頭、アヴァンギャルドは〈他者〉の身体をいかに引用したか	開催	3 月 19 日（土）	アートスペースＡ	63 人 （120 人）
	鑑賞公演や創作公演に関連した内容を、より深く体験し、広く深い知識を持って鑑賞できるようになるための実演付レクチャーや講座を行いました。				
障がい者及び劇場に来づらい人のためのプログラム	【視覚障がい者対応】 公演前説明会　ヌトミック	開催	4 月 28 日（水）	小ホール	4 人 （＋介添１名）
	【視覚障がい者対応】 点字翻訳パンフレット配布 クリスマスはオルガンだ！2021	開催	12 月 22 日（水）	コンサートホール	6 人
	【聴覚障がい者対応】 ヒアリングループの設置 オルガン・アワー	開催	6 月 18 日（金）	コンサートホール	1 人
	【聴覚障がい者対応】 日本語字幕設置 ラ・ボエーム	開催	11 月 21 日（日） ～23 日（火・祝）	小ホール	3 人 （＋同伴１名）
	【聴覚障がい者対応】 日本語字幕タブレット配布 ねー	開催	11 月 21 日（日） ～23 日（火・祝）	小ホール	3 人 （＋同伴１名）
	【聴覚障がい者対応】 ヒアリングループの設置 クリスマスはオルガンだ！2021	開催	12 月 22 日（水）	コンサートホール	1 人
	【オンライン開催】 ソーシャルインクルージョンオンラインゼミ ① 『ソーシャルインクルージョン』についてもう一度考える ② オンライン読書会１ ③ オンライントーク１ ④ オンラインゼミ１ ⑤ オンライン読書会２ ⑥ オンライントーク２ ⑦ オンラインゼミ２	開催	① 4 月 19 日（月） ② 5 月 17 日（月） ③ 6 月 29 日（火） ④ 7 月 29 日（木） ⑤ 9 月 27 日（月） ⑥ 10 月 26 日（火） ⑦ 11 月 18 日（木） （各１回）	オンライン	①14 人 ②17 人 ③45 人 ④16 人 ⑤ 9 人 ⑥ 6 人 ⑦11 人
	【一部オンライン開催】 地域の国際化セミナー2022 「エンパシー（共感）が人をつなぐ」	開催	3 月 12 日（土）	名古屋国際センター、オンライン	38 人 ｵﾝﾗｲﾝ 78 人
	視覚や聴覚に障がいのある人が公演を楽しめるように、特別な解説やサポートを実施したほか、ソーシャルインクルージョンに関するオンラインゼミを開催しました。				

事業名		実施状況	開催日	会場	参加者数（募集定員）
			概要		
在住外国人のためのプログラム	【再掲】【一部オンライン開催】多文化子育てサロン・ワークショップ『赤ちゃんと一緒にダンス！』ファシリテーター：プロジェクト大山（愛知県と共催）	開催	① 11月13日(土) ② 11月14日(日) ③ 1月15日(土) （各1回）	①乙川北部記念館(半田) ②愛三文化会館(大府) ③オンライン(豊田)	① 10組28人(12組) ② 14組37人(15組) ③ 20組52人
	多文化共生社会の実現に向けて、芸術文化を通じて交流できるプログラムを実施しました。				
合計　23事業（うち再掲3事業 ／うちオンライン配信7事業）、中止3事業（うち再掲1事業）					5,817人

3　愛知芸術文化センターの管理運営等

芸文センターの指定管理者として、芸文センター全体の広報活動や、アートプラザの運営、愛知県美術館を含む芸文センター全体の施設管理を行うことにより、県民の皆様が楽しく身近に芸術文化に触れ、また発信できる場と機会を提供しました。

また、利用者の安全性の確保を第一に考えた防火・防災体制の強化を行うとともに、安心して利用していただける施設環境の整備に努めました。

1　広報・マーケティング

（1）情報誌「AAC」の発行

芸文センターが実施する芸術文化事業の紹介や地域の芸術文化活動に関する情報等を掲載した情報誌を発行しました。手に取ってもらいやすい情報誌を目指すとともに、ウェブブックをインターネット上で公開しました。

配布先：県内外の劇場・ホール、美術館、図書館、その他公共施設、民間商業施設等

＜AAC 発行状況＞

号	発行月	発行部数	概要
Vol.108	R3.6	15,000部	勅使川原三郎「羅生門」／映像作家・画家 石田尚志 他
Vol.109	R3.9	15,000部	新しい舞台芸術に出会う今秋の「ミニセレ」4選／曽我蕭白 他
Vol.110	R3.12	15,000部	スターダンサーズ・バレエ団/義足のアーティスト・片山真理　他
Vol.111	R4.3	15,000部	ミロ展・八幡亜樹/オルガン・レクチャーコンサート　他

（2）マスコミ等を通じた発信

芸術劇場で行われる各種公演や自主事業等について多くの人に周知するため、マスコミ等を通じて情報発信を行いました。

全597件（告知173件、記事281件、広告120件、その他23件）

（３）多様な情報発信

各種の媒体や仕組みの特性を生かし、劇場主催公演をはじめとした各イベントの情報を分かりやすくタイムリーに提供しました。また、中部芸術文化記者クラブの事務局を担い、県内外の美術館等の情報発信を支援しました。

＜SNS の状況＞

媒体	発信内容の対象	導入時期	アクセス数等
Facebook	芸術劇場	H26.4	読者　3,839 人 訪問者　2,623,770 人
Twitter	芸術劇場	H26.4	読者　3,360 人
YouTube	芸術劇場	H26.10	チャンネル登録者　590 人 視聴回数　355,095 回

（４）販売促進

＜愛知県芸術劇場メンバーズ＞

主催公演の情報などを直接お伝えするダイレクトメールや、主催公演チケットをインターネット上で購入できる仕組みを整え、運用しています。

※愛知県芸術劇場メンバーズ　会員数 16,119 名

（５）調査・研究

劇場及びアートスペースの利用者を対象とした満足度調査を実施し、ハード・ソフト両面における劇場の使いやすさやニーズを把握し、施設利用サービスのさらなる改善に努めています。また、自主事業の際には来場者アンケートを実施し、事業に対する評価や来場者属性の把握・分析を行い、自主事業の企画制作に反映させています。

（６）共有スペースの活用

オアシス 21 と繋がる地下連絡通路やフォーラムエリアの壁面、エレベーターなどの共有スペースに、当事業団や愛知県美術館が展開する事業に関する大型ポスターを設置し、芸文センターの活性化を図りました。

（７）賛助会員制度

文化振興を通じて地域の企業等との関係を強化するとともに、圏域の文化芸術の更なる創造・発信につなげるための制度です。愛知県芸術劇場が主催する事業について支援をいただいております。

支援メニュー		賛助金額（円/口）	申込数
芸術文化事業全般への支援	プレミアムコース	50 万円	0 件　0 口
	アドヴァンスコース	10 万円	7 件　7 口
プログラム別支援	ファミリー・プログラム	5 万円	4 件　5 口
	普及啓発プログラム		4 件　4 口
	舞台芸術人材養成プログラム		0 件　0 口
公演別支援		5 万円	0 件　0 口
芸術監督公演支援		10 万円	0 件　0 口

２　アートプラザの運営

美術、音楽、演劇などに関する多様な芸術文化情報を、様々な媒体を通じて県民に提供する情報発信拠点として、県民の皆様に気軽に利用していただけるような運営に努めました。

※令和３年度入場者数　142，152 人

３　施設管理・防災

（１）施設の保守・維持管理

事故の未然防止が最大の安全対策であるという考え方のもと、スタッフや委託業者による日常点検や各種設備の保守点検を計画的に行いました。芸文センター全体の警備や清掃、空調管理など、安全かつ快適な場所を提供するために必要な業務についても、委託業者と連携を密にしながら適切に実施し、利用者からのご要望にも丁寧に対応しました。

また、「施設管理連絡会議」（県と事業団で組織）を毎月定例開催し、指定管理業務の効率的な運営や利用者サービスの調整、施設管理上の問題点やトラブル等の共有等を図りました。

（２）防災体制

消防法をはじめとする関係法令を順守するとともに、組織横断的に「防災プロジェクトチーム」を組織し、スタッフの災害対応に係る意識、知識、スキルの継続的な向上を図りました。

＜令和３年度防災 PT＞

開催回数： 12 回（月１回）

また、非常時の避難誘導をスムーズに行えるよう、避難階段から出口までのルートを分かりやすくするため、矢印等のサインの貼り付けを行いました。

○避難経路ツアー及び利用頻度の高いユーザーとの意見交換会の開催

建物構造の複雑な芸文センターの避難経路の把握、及び避難誘導にあたっての問題点の洗い出しを目的とした「避難経路ツアー」を開催しました。加えて、劇場貸館の利用頻度の高いユーザーを交えて防災に関する意見交換を行いました。

開催時期：9/6(月)

参加人数：芸文センター内で勤務する職員(委託業者含む)及び劇場ユーザーなど計 89 人

○消防・防災訓練、防災・防火講習の実施

災害発生時の対応能力向上を目的に、消防・防災訓練及び防火・防災講習を実施しました。

＜消防・防災訓練＞

2/14(月)　地震発生を想定した消防・防災訓練(140 人)

＜防火・防災講習＞

6/17(木)　防災勉強会(55 人)

8/19(木)　消火器・屋内消火栓の使用方法(58 人)

11/2(火)　心肺蘇生法、AED 使用方法(18 人)

※名古屋市消防局　応急手当研修センター指導員による講習

＜その他＞

9/1(水)　あいちシェイクアウト訓練に参加（38 人）

11/11(木)　ＮＨＫビル防災訓練に参加(約７人)

2/24(木)　愛知県美術館が主催する消防・防災訓練に参加(7 人)

（３）新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

芸術劇場に安心してご来場いただけるよう、国や県、全国公立文化施設協会のガイドラインを

ベースとし、当劇場の利用者、スタッフ及び県内劇場関係者で構成した「愛知県芸術劇場の感染症対策に関する意見聴取会」で考え方をまとめ、全国の劇場の事例も参考にして、愛知県芸術劇場の新型コロナウイルス感染拡大予防対策を考案し、実施しています。

利用者との開催前の利用打合せ時においては、愛知県のチェックリストを提示し、感染拡大防止対策を徹底していただくよう依頼、公演当日は支配人及び舞台技術職員により確認しています。

○ 芸術劇場各ホールの収容率

・自主事業の実施にあたっては、国や愛知県等の基準に沿った収容率を設定
・貸館事業においては、国や愛知県等の基準に沿って開催するよう主催者に要請

○ 芸文センター内での対応

・センター内の清掃・消毒の徹底
・手すり、ドア、トイレ、ホール座席等について抗菌コート施工
・フォーラム、エレベーター、トイレ等に足元サイン設置
・総合案内、館内各施設等にアルコール消毒剤の設置
・受付窓口にビニールシートやクリアパネルを設置
・スタッフのマスク着用、手洗い、健康チェック　　など

○ 来館者へのお願い

・手指消毒、マスク着用
・風邪症状のある方、体調がすぐれない方及び海外から入国後 14 日以内の方の来館を控えていただく
・他のお客様と間隔をとっていただく　　など

○ 貸館としての対応、自主事業実施時の対応

・貸館利用者向けガイドライン「新型コロナウイルス感染拡大予防対策のお願い」、自主事業用「プロダクション側のガイドライン」を作成
・サーモグラフィーカメラ・非接触型体温計導入、来場者体温チェック
・公演前後及び休憩中の客席扉開放、空調の外気導入量増
・カウンター用飛沫防止パネル貸出し
・公演時のチケットもぎり、イベント開催、物品販売の自粛要請
・クローク、ブランケット貸出、ビュッフェの営業停止
・来場者の連絡先把握　　など

4　他団体との連携・交流

（１）近隣施設との交流

近隣商業施設との会合に積極的に参加し、情報交換に努めています。

＜連携先＞

North　Five
栄公園地区連携協議会
久屋大通発展会
久屋大通東南地区発展会

（２）圏域の公立文化施設とのつながり

全国公立文化施設協会東海北陸支部及び愛知県公立文化施設協議会の事務局となり、地域の公立文化施設職員の知識・技術向上や情報共有を図るため、実務研修や研究会を開催しました。

（３）全国の劇場・音楽堂とのつながり

自主事業や舞台技術について全国の劇場・音楽堂等と情報共有したり、名古屋市内のホールと施設利用サービス等について情報共有したりしました。

＜連携先＞

全国公立文化施設協会
劇場・音楽堂等連絡協議会
公共劇場舞台技術者連絡会
名古屋ホール運営協議会　　ほか

（４）視察・施設見学の受け入れ

全国の劇場関係者や県内の小学・中学・高校生の施設見学を受け入れました。

※計５件　40 名

（５）職員の派遣

文化庁、公益社団法人全国公立文化施設協会、独立行政法人国際交流基金、愛知県、名古屋市、半田市、豊川市、犬山市、長久手市、岐阜市、公益財団法人豊田市文化振興財団、一般財団法人岐阜市公共ホール管理財団、公益財団法人三重県文化振興事業団、公益財団法人静岡県文化財団、京滋舞台芸術事業協同組合、公益財団法人千葉県文化振興財団、公益財団法人北九州市芸術文化振興財団、名古屋市昭和文化小劇場、豊田市民文化会館、犬山市民文化会館、iichiko 総合文化センター、一般社団法人芸術と創造、一般社団法人スター・クラシックス協会、名古屋芸術大学、国立音楽大学、広島市立大学、ARTCABINET、MusicBridge、公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団、公益財団法人セゾン文化財団、一般財団法人セガサミー文化芸術財団、東京新聞全国舞踊コンクール、日本障害者舞台芸術協働機構に専門性の高い職員を派遣し、文化振興プランの策定や劇場運営のアドバイス等を行いました。

（６）海外芸術交流事業

「AAPPAC」（アジア太平洋パフォーミングアーツセンター連盟）に加盟しています。令和３年度は、10 月 28 日・29 日に開催された定例会及び総会に参加するとともに、ショーケース「Connecting Series」の選考委員長及び司会進行を務めました。

Ⅲ　収益事業

公益事業に資するため、複合施設の特性を活かした収益事業を行いました。

１　ミュージアムショップ（10 階）

美術館企画展やコレクション展の内容に合わせて、図録、絵はがき、オリジナルグッズ等の販売を行いました。

愛知県美術館及び芸文センターの認知度や集客を高めるため、美術館所蔵作品をモチーフにしたオリジナル商品を販売するとともに、来場者数や客層、企画展関連イベント等を踏まえた商品展開を徹底し、売上の増加を図りました。

２　アートショップ（地下 2 階）

芸術関連の書籍、CD、雑貨、芸文センターで開催された展覧会やイベントのカタログなど、文化芸術に関する商品の販売を行いました。

３　プレイガイド（地下 2 階）

事業団の主催事業をはじめ、近隣の劇場・ホールで行われる各種公演・美術展などのチケット販売を行いました。

Ⅳ　法人運営

１　理事会・評議員会の開催状況

（１）理事会

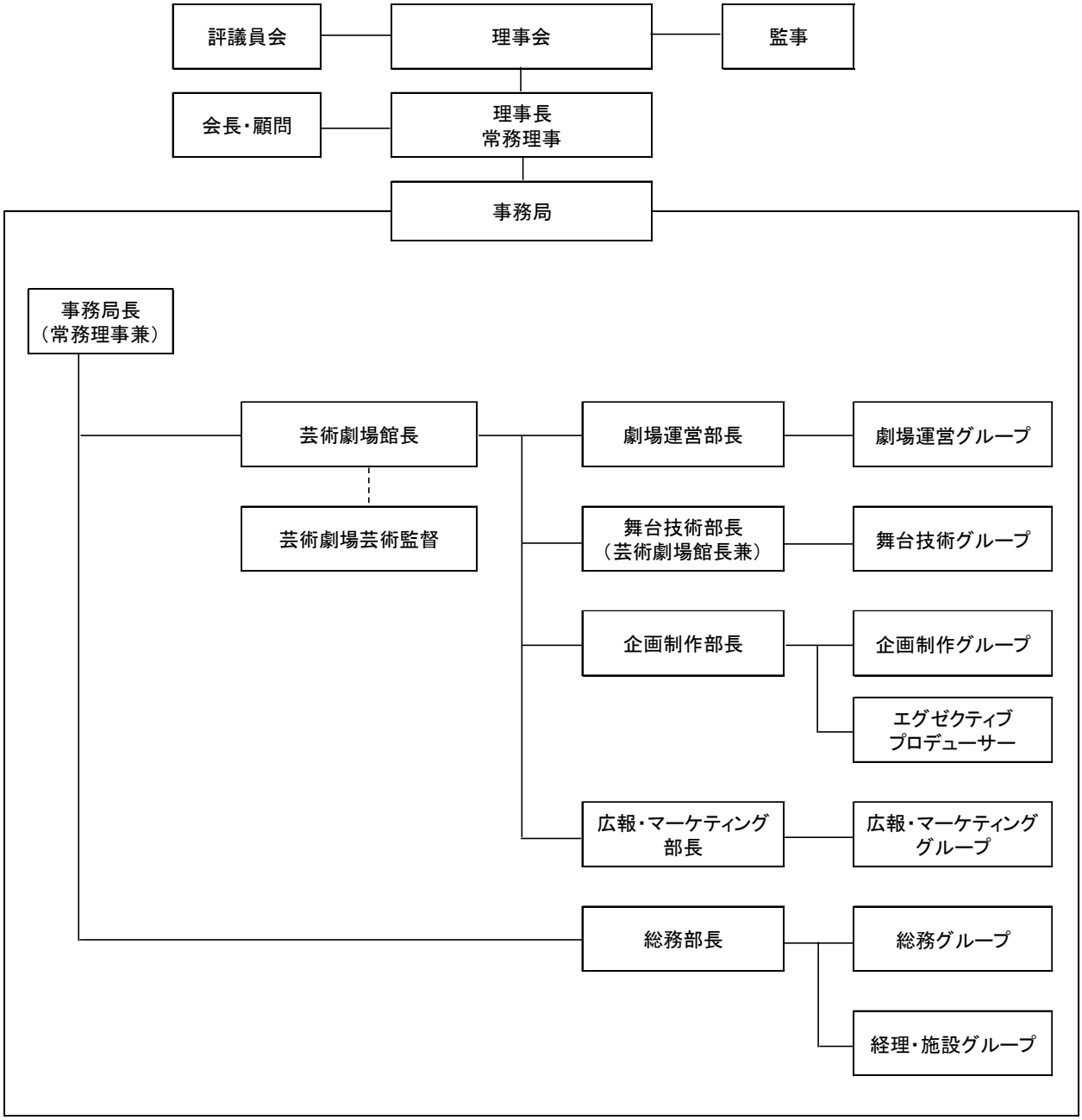
会 議 名	開 催 日	議　　案
臨時理事会	5/27(木)	1　令和３年５月臨時評議員会の開催について
通常理事会	6/9(水)	1　令和２年度事業報告について 2　令和２年度収支決算について 3　令和３年度事業計画の変更について 4　令和３年度収支補正予算について 5　令和３年６月定時評議員会の開催について
臨時理事会	6/30(水)	1　代表理事（理事長）の選任について 2　常務理事及び事務局長の選任について 3　令和３年７月臨時評議員会の開催について
臨時理事会	12/1(水)	1　理事の報酬の額について
通常理事会	3/9(水)	1　令和４年度事業計画について 2　令和４年度収支予算について 3　公益財団法人愛知県文化振興事業団就業規程の改正について 4　役員等賠償責任保険契約の内容の決定について

（２）評議員会

会 議 名	開 催 日	議　　案
臨時評議員会	5/27(木)	1　理事の選任について 2　理事の選任について 3　評議員の選任について 4　評議員の選任について 5　評議員の選任について
定時評議員会	6/30(火)	1　令和２年度事業報告について 2　令和２年度収支決算について 3　理事の選任について 4　監事の選任について 5　評議員の選任について
臨時評議員会	7/15(金)	1　評議員の選任について

２　組織体制

（１）令和 3 年度組織体制



（２）職員数

常勤役員	2 名
職員	34 名
嘱託員	10 名
計	46 名

Ⅴ　資料

別表１　愛知県芸術劇場の利用状況

別表２　アートスペース（催事室）の利用状況

愛知県芸術劇場の利用状況

別表１

愛知県芸術劇場

(1) 時間帯別利用状況、入場者数

ア　大ホール

利用月	利用可能日数(A)	利用日数(B)	利用率(B/A)	利用件数 午前	午後	夜間	午前・午後	午後・夜間	全日	時間外	計	入場者数	2年度実績 利用率(B/A)	入場者数
	日	日	%	件	件	件	件	件	件	件	件	人	%	人
3年 4月	27	19	70.4	1	–	–	–	–	18	(1)	19	12,179	0.0	0
5月	24	14	58.3	–	–	–	–	–	14	(4)	14	14,629	–	–
6月	22	16	72.7	–	–	–	–	–	16	(3)	16	23,456	0.0	0
7月	27	20	74.1	–	–	–	–	–	20	(3)	20	10,822	14.3	1,710
8月	18	14	77.8	–	–	–	1	–	13	(1)	14	7,140	12.0	0
9月	19	14	73.7	–	–	–	–	–	14	(3)	14	8,642	11.5	2,215
10月	23	18	78.3	–	–	–	–	–	18	(3)	18	14,267	39.1	8,421
11月	24	14	58.3	–	–	1	–	–	13	(2)	14	11,825	31.6	6,855
12月	22	16	72.7	–	–	–	–	–	16	(3)	16	21,545	29.4	5,865
4年 1月	25	18	72.0	–	–	–	1	–	17	(3)	18	17,859	31.3	2,213
2月	20	18	90.0	–	–	–	–	1	17	(2)	18	12,876	47.6	4,104
3月	16	14	87.5	–	–	–	1	–	13	(2)	14	12,834	61.1	7,017
計	267	195	73.0	1	0	1	3	1	189	(30)	195	168,074	24.4	38,400
構成比				0.5%	–	0.5%	1.5%	0.5%	96.9%		100.0%			
2年度実績	225	55	24.4	1	0	1	3	1	50	(10)	56	38,400		

（注）１ 利用日数は、１日に複数の利用（例：午前１件と午後１件）があった場合でも１日としている。
２ 利用件数は、一つの催物が複数日にわたる場合には利用日数で計算している。
３ 構成比は、全体に占める割合（%）を、小数点第２位以下を四捨五入して示している。
４ 以下イ～オの表においても、上記１，２，３のとおりである。

イ　コンサートホール

利用月	利用可能日数(A)	利用日数(B)	利用率(B/A)	利用件数 午前	午後	夜間	午前・午後	午後・夜間	全日	時間外	計	入場者数	2年度実績 利用率(B/A)	入場者数
	日	日	%	件	件	件	件	件	件	件	件	人	%	人
3年 4月	24	14	58.3	–	–	–	–	2	12	(–)	14	8,884	0.0	0
5月	28	16	57.1	1	1	1	2	1	11	(–)	17	6,042	–	–
6月	24	21	87.5	–	–	1	5	3	12	(–)	21	8,500	13.0	92
7月	21	16	76.2	2	–	–	3	1	11	(–)	17	5,770	52.2	1,779
8月	26	20	76.9	1	–	–	4	1	15	(–)	21	8,903	30.4	1,588
9月	24	13	54.2	–	–	1	2	1	10	(–)	14	6,939	18.5	2,286
10月	26	22	84.6	1	–	2	1	3	17	(1)	24	15,111	29.6	3,724
11月	26	21	80.8	–	–	4	5	2	13	(–)	24	14,324	60.9	9,231
12月	24	24	100.0	1	–	3	3	2	17	(–)	26	16,335	81.0	11,404
4年 1月	22	16	72.7	–	–	–	2	4	10	(1)	16	8,059	70.6	5,106
2月	21	10	47.6	–	–	1	3	1	6	( )	11	5,893	57.9	6,278
3月	27	25	92.6	2	1	–	1	3	18	(–)	25	14,229	66.7	8,113
計	293	218	74.4	8	2	13	31	24	152	(2)	230	118,989	43.0	49,601
構成比				3.5%	0.9%	5.7%	13.5%	10.4%	66.1%		100.0%			
2年度実績	244	105	43.0	8	1	10	10	12	66	(–)	107	49,601		

ウ 小ホール

利用月	利用可能日数(A)	利用日数(B)	利用率(B/A)	利用件数 午前	午後	夜間	午前・午後	午後・夜間	全日	時間外	計	入場者数	2年度実績 利用率(B/A)	入場者数
	日	日	%	件	件	件	件	件	件	件	件	人	%	人
3年 4月	24	12	50.0	–	–	–	2	–	10	(–)	12	746	5.9	47
5月	29	17	58.6	–	1	–	1	1	14	(–)	17	1,056	–	–
6月	20	16	80.0	–	–	1	1	–	14	(–)	16	979	8.3	0
7月	18	10	55.6	–	–	–	2	–	8	(–)	10	1,490	79.2	1,233
8月	24	16	66.7	–	–	1	2	–	14	(–)	17	1,469	56.0	750
9月	19	6	31.6	1	–	–	–	1	4	(–)	6	232	71.4	1,117
10月	23	20	87.0	–	–	–	1	–	19	(–)	20	1,962	100.0	813
11月	27	27	100.0	–	–	–	–	–	27	(–)	27	1,963	74.1	1,272
12月	24	23	95.8	–	–	1	1	–	21	(–)	23	1,989	91.3	1,603
4年 1月	20	19	95.0	–	–	–	1	–	18	(–)	19	850	78.3	731
2月	23	15	65.2	–	–	1	–	2	12	(–)	15	879	78.3	1,196
3月	21	16	76.2	–	–	–	1	2	13	(–)	16	1,417	63.6	942
計	272	197	72.4	1	1	4	12	6	174	(–)	198	15,032	66.0	9,704
構成比				0.5%	0.5%	2.0%	6.1%	3.0%	87.9%		100.0%			
2年度実績	262	173	66.0	2	0	1	1	6	165	(–)	175	9,704		

エ 大リハーサル室

利用月	利用可能日数(A)	利用日数(B)	利用率(B/A)	利用件数 午前	午後	夜間	午前・午後	午後・夜間	全日	時間外	計	入場者数	2年度実績 利用率(B/A)	入場者数
	日	日	%	件	件	件	件	件	件	件	件	人	%	人
3年 4月	26	13	50.0	2	1	–	3	1	6	(–)	13	90	0.0	0
5月	29	13	44.8	1	1	–	3	1	7	(–)	13	48	–	–
6月	25	14	56.0	–	1	1	1	3	9	(–)	15	0	8.0	0
7月	29	24	82.8	3	–	1	2	3	19	(–)	28	48	34.5	0
8月	25	23	92.0	4	–	3	3	3	14	(–)	27	186	18.5	40
9月	27	17	63.0	3	–	–	2	3	11	(–)	19	132	40.7	93
10月	28	19	67.9	2	1	1	2	1	14	(–)	21	39	57.1	120
11月	24	23	95.8	4	1	3	5	3	13	(–)	29	338	50.0	88
12月	22	22	100.0	2	2	5	4	1	13	(–)	27	151	63.6	47
4年 1月	22	14	63.6	–	–	2	6	2	5	(–)	15	148	65.4	506
2月	25	21	84.0	1	1	–	2	3	15	(–)	22	79	92.0	48
3月	25	10	40.0	1	–	–	1	3	6	(–)	11	107	34.6	152
計	307	213	69.4	23	8	16	34	27	132	(–)	240	1,366	42.7	1,094
構成比				9.6%	3.3%	6.7%	14.2%	11.3%	55.0%		100.0%			
2年度実績	281	120	42.7	1	4	8	14	10	86	(–)	123	1,094		

オ 中リハーサル室

利用月	利用可能日数(A)	利用日数(B)	利用率(B/A)	利用件数 午前	午後	夜間	午前・午後	午後・夜間	全日	時間外	計	入場者数	2年度実績 利用率(B/A)	入場者数
	日	日	%	件	件	件	件	件	件	件	件	人	%	人
3年 4月	26	23	88.5	4	7	2	3	3	7	(–)	26	289	5.0	0
5月	29	19	65.5	3	7	2	3	3	4	(–)	22	114	–	–
6月	24	21	87.5	2	7	2	2	3	8	(–)	24	169	12.0	55
7月	29	27	93.1	7	2	1	–	3	20	(–)	33	213	0.0	0
8月	25	19	76.0	2	5	1	1	2	11	(–)	22	247	17.9	25
9月	27	23	85.2	1	9	–	–	2	12	(–)	24	268	22.2	15
10月	28	26	92.9	3	16	1	5	2	2	(–)	29	302	42.9	410
11月	28	27	96.4	5	5	1	–	4	17	(–)	32	183	76.0	362
12月	22	22	100.0	3	10	–	1	5	5	(–)	24	169	54.5	150
4年 1月	22	22	100.0	2	6	–	1	4	11	(–)	24	32	46.2	184
2月	22	18	81.8	3	9	2	1	1	7	(–)	23	119	52.4	95
3月	26	25	96.2	4	12	4	2	2	7	(–)	31	200	74.1	206
計	308	272	88.3	39	95	16	19	34	111	(–)	314	2,305	36.3	1,502
構成比				12.4%	30.3%	5.1%	6.1%	10.8%	35.4%		100.0%			
2年度実績	278	101	36.3	13	35	11	19	7	27	(–)	112	1,502		

(2) 催物別利用状況

ア 大ホール

利用月	催物別利用件数														
	音楽				舞踊			演劇			映画	その他の芸能	講演会	式典等	計
	クラシック		その他の音楽	邦楽	バレエ	その他の洋舞	日本舞踊	伝統演劇	ミュージカル	一般演劇					
	オペラ	その他													
	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件
3年 4月	–	–	2	–	–	1	2	–	13	–	–	–	–	1	19
5月	–	1	11	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	14
6月	–	1	7	–	–	–	–	–	8	–	–	–	–	–	16
7月	–	2	4	–	1	6	–	–	7	–	–	–	–	–	20
8月	–	3	1	–	–	4	–	–	5	–	–	1	–	–	14
9月	4	–	5	–	–	–	–	1	4	–	–	–	–	–	14
10月	6	3	9	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	18
11月	–	2	6	–	6	–	–	–	–	–	–	–	–	–	14
12月	–	7	3	2	4	–	–	–	–	–	–	–	–	–	16
4年 1月	–	–	3	–	–	–	–	–	11	3		–	–	1	18
2月	4	2	5	–	6	–	–	–	–	–	–	–	1	–	18
3月	–	5	4	–	–	–	–	–	5	–	–	–	–	–	14
計	14	26	60	2	17	11	2	1	53	3	–	1	3	2	195
構成比	7.2%	13.3%	30.8%	1.0%	8.7%	5.6%	1.0%	0.5%	27.2%	1.5%	–	0.5%	1.5%	1.0%	100.0%
	52.3%				15.4%			29.2%			3.1%				100.0%

(注) 構成比は、全体に占める割合（%）を、小数点第２位以下を四捨五入して示している。以下の表においても、同じである。

イ コンサートホール

利用月	催物別利用件数														
	音楽											演劇	その他の芸能	講演会等	計
	クラシック								軽音楽	その他の音楽	邦楽				
	オーケストラ	合唱	吹奏楽	室内楽	声楽	ピアノ	オルガン	その他							
	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件
3年 4月	8	1	2	–	–	–	2	–	–	–	–	–	1	–	14
5月	10	–	–	–	–	–	5	–	–	–	–	–	2	–	17
6月	8	–	3	–	–	2	5	–	–	–	–	–	3	–	21
7月	10	–	–	–	–	–	5	–	–	–	–	–	2	–	17
8月	8	–	–	2	–	1	10	–	–	–	–	–	–	–	21
9月	8	–	–	1	–	1	3	–	1	–	–	–	–	–	14
10月	12	–	1	2	1	2	6	–	–	–	–	–	–	–	24
11月	8	5	1	2	–	3	4	–	–	–	1	–	–	–	24
12月	11	3	1	2	1	–	8	–	–	–	–	–	–	–	26
4年 1月	6	3	1	1	–	2	2	–	1	–	–	–	–	–	16
2月	4	–	2	1	–	–	2	–	1	–	–	–	–	1	11
3月	9	5	–	1	–	2	8	–	–	–	–	–	–	–	25
計	102	17	11	12	2	13	60	0	3	0	1	0	8	1	230
構成比	44.3%	7.4%	4.8%	5.2%	0.9%	5.7%	26.1%	–	1.3%	–	0.4%	–	3.5%	0.4%	100.0%
	94.3%								1.7%			3.9%			100.0%

ウ 小ホール

利用月	催物別利用件数														
	音楽				舞踊			演劇			演芸	映画	その他の芸能	講演会等	計
	クラシック	歌謡曲	その他の音楽	邦楽	現代舞踊	その他の洋舞	日本舞踊	伝統演劇	ミュージカル	一般演劇					
	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件
3年 4月	1	–	–	–	–	–	–	–	–	11	–	–	–	–	12
5月	2	–	1	1	3	2	–	–	–	7	1	–	–	–	17
6月	1	–	2	–	1	–	–	–	–	9	–	3	–	–	16
7月	2	–	–	–	–	2	–	–	–	4	–	–	–	2	10
8月	3	–	3	–	–	–	–	–	6	4	–	–	–	1	17
9月	1	–	–	–	4	1	–	–	–	–	–	–	–	–	6
10月	5	–	1	–	3	3	–	–	–	8	–	–	–	–	20
11月	–	–	1	–	2	1	–	–	–	23	–	–	–	–	27
12月	5	–	3	–	5	3	–	–	–	7	–	–	–	–	23
4年 1月	–	–	–	–	–	–	–	–	–	7	–	9	3	–	19
2月	–	–	–	–	–	2	–	–	–	6	2	–	4	1	15
3月	2	–	–	–	–	–	–	–	3	6	2	–	3	–	16
計	22	0	11	1	18	14	0	0	9	92	5	12	10	4	198
構成比	11.1%	0.0%	5.6%	0.5%	9.1%	7.1%	0.0%	–	4.5%	46.5%	2.5%	6.1%	5.1%	2.0%	100.0%
	17.2%				16.2%			51.0%			15.7%				100.0%

エ 大リハーサル室

利用月	形態別利用件数				
	控室	練習	小発表会	その他	計
	件	件	件	件	件
3年 4月	1	11	1	–	13
5月	4	8	–	1	13
6月	–	15	–	–	15
7月	–	27	–	1	28
8月	–	21	2	4	27
9月	1	17	1	–	19
10月	–	18	–	3	21
11月	1	22	1	5	29
12月	3	21	2	1	27
4年 1月	1	9	1	4	15
2月	–	20	–	2	22
3月	–	8	1	2	11
計	11	197	9	23	240
構成比	4.6%	82.1%	3.8%	9.6%	100.0%

オ 中リハーサル室

利用月	形態別利用件数				
	控室	練習	小発表会	その他	計
	件	件	件	件	件
3年 4月	1	19	4	2	26
5月	–	19	1	2	22
6月	2	20	2	–	24
7月	–	30	3	–	33
8月	–	17	2	3	22
9月	–	22	2	–	24
10月	1	21	6	1	29
11月	2	27	3	–	32
12月	4	17	3	–	24
4年 1月	4	19	1	–	24
2月	–	19	1	3	23
3月	–	26	4	1	31
計	14	256	32	12	314
構成比	4.5%	81.5%	10.2%	3.8%	100.0%

アートスペース（催事室）の利用状況

別表２

(1) 利用室別利用状況、入場者数

ア 会議室利用

利用月	A室				B室				C室				D室				E・F室				合計				入場者数 (A～E･F)
	利用可能日数 (A)	利用日数 (B)	利用率 (B/A)	利用件数	利用可能日数 (A)	利用日数 (B)	利用率 (B/A)	利用件数	利用可能日数 (A)	利用日数 (B)	利用率 (B/A)	利用件数	利用可能日数 (A)	利用日数 (B)	利用率 (B/A)	利用件数	利用可能日数 (A)	利用日数 (B)	利用率 (B/A)	利用件数	利用可能日数 (A)	利用日数 (B)	利用率 (B/A)	利用件数	
	日	日	%	件	日	日	%	件	日	日	%	件	日	日	%	件	日	日	%	件	日	日	%	件	人
3年 4月	26	6	23.1	6	26	0	0.0	0	26	12	46.2	13	26	16	61.5	16	26	12	46.2	12	130	46	35.4	47	787
5月	26	6	23.1	6	26	0	0.0	0	26	6	23.1	6	26	3	11.5	4	26	8	30.8	8	130	23	17.7	24	671
6月	26	12	46.2	14	26	6	23.1	6	26	8	30.8	9	26	6	23.1	6	26	9	34.6	10	130	41	31.5	45	1,846
7月	25	5	20.0	5	25	3	12.0	3	25	8	32.0	9	25	7	28.0	8	25	12	48.0	14	125	35	28.0	39	796
8月	27	5	18.5	5	26	5	19.2	5	26	7	26.9	8	26	6	23.1	6	26	14	53.8	16	131	37	28.2	40	763
9月	29	20	69.0	20	28	21	75.0	21	28	15	53.6	15	28	18	64.3	18	28	22	78.6	23	141	96	68.1	97	2,197
10月	29	28	96.6	28	29	29	100.0	29	29	27	93.1	27	29	29	100.0	29	29	27	93.1	27	145	140	96.6	140	3,931
11月	25	9	36.0	9	25	4	16.0	4	25	11	44.0	11	25	13	52.0	14	25	15	60.0	15	125	52	41.6	53	2,346
12月	23	11	47.8	11	23	3	13.0	3	23	12	52.2	14	23	11	47.8	11	23	15	65.2	19	115	52	45.2	58	1,862
4年 1月	24	10	41.7	10	24	4	16.7	4	24	14	58.3	15	24	9	37.5	9	24	12	50.0	13	120	49	40.8	51	1,269
2月	24	13	54.2	14	24	0	0.0	0	24	7	29.2	7	24	5	20.8	6	24	12	50.0	13	120	37	30.8	40	1,514
3月	24	11	45.8	11	27	2	7.4	2	27	10	37.0	10	27	9	33.3	9	27	13	48.1	14	132	45	34.1	46	1,323
計	308	136	44.2	139	309	77	24.9	77	309	137	44.3	144	309	132	42.7	136	309	171	55.3	184	1544	653	42.3	680	19,305
構成比				11.6%				6.4%				12.0%				11.4%				15.4%				56.8%	
2年度実績	267	92	34.5	97	274	15	5.5	15	274	82	29.9	86	273	76	27.8	79	273	109	39.9	121	1361	374	27.5	398	11,935

イ 展示室利用

利用月	G室				H室				X室				合計				入場者数 (G･H･X)
	利用可能日数 (A)	利用日数 (B)	利用率 (B/A)	利用件数	利用可能日数 (A)	利用日数 (B)	利用率 (B/A)	利用件数	利用可能日数 (A)	利用日数 (B)	利用率 (B/A)	利用件数	利用可能日数 (A)	利用日数 (B)	利用率 (B/A)	利用件数	
	日	日	%	件	日	日	%	件	日	日	%	件	日	日	%	件	人
3年 4月	27	6	22.2	6	26	5	19.2	5	26	16	61.5	16	79	27	34.2	27	1,112
5月	25	10	40.0	10	25	8	32.0	8	25	13	52.0	13	75	31	41.3	31	1,148
6月	26	6	23.1	6	26	5	19.2	5	26	7	26.9	7	78	18	23.1	18	798
7月	25	11	44.0	11	25	6	24.0	6	25	5	20.0	5	75	22	29.3	22	1,499
8月	26	6	23.1	6	26	20	76.9	20	26	11	42.3	11	78	37	47.4	37	1,136
9月	27	25	92.6	25	27	16	59.3	16	28	28	100.0	28	82	69	84.1	69	1,872
10月	29	28	96.6	28	29	28	96.6	28	29	28	96.6	28	87	84	96.6	84	4,076
11月	25	25	100.0	25	25	18	72.0	18	25	18	72.0	18	75	61	81.3	61	3,534
12月	23	23	100.0	23	23	17	73.9	17	17	12	70.6	12	63	52	82.5	52	2,931
4年 1月	17	16	94.1	16	17	9	52.9	9	17	17	100.0	17	51	42	82.4	42	2,096
2月	24	9	37.5	9	24	6	25.0	6	24	24	100.0	24	72	39	54.2	39	1,856
3月	27	16	59.3	16	27	7	25.9	7	27	12	44.4	12	81	35	43.2	35	1,749
計	301	181	60.1	181	300	145	48.3	145	295	191	64.7	191	896	517	57.7	517	23,807
構成比				15.1%				12.1%				16.0%				43.2%	
2年度実績	266	107	40.2	107	266	85	32.0	85	256	101	39.5	101	788	293	37.2	293	14,239

ウ 合計

利用率	利用件数合計	入場者数合計
%	件	人
34.9	74	1,899
26.3	55	1,819
28.4	63	2,644
28.5	61	2,295
35.4	77	1,899
74.0	166	4,069
96.6	224	8,007
56.5	114	5,880
58.4	110	4,793
53.2	93	3,365
39.6	79	3,370
37.6	81	3,072
48.0	1,197	43,112
	100.0%	
31.0	691	26,174

(注) 1 利用日数は、１日に複数の利用（例：午前１件と午後１件）があった場合でも１日としている。
2 利用件数は、一つの催物が複数日にわたる場合には利用日数で計算している。
3 構成比は、全体に占める割合（%）を、小数点第２位以下を四捨五入して示している。

(2) 催物別利用状況

利用月	催物別利用件数										計
	映画会	芸術文化講演会	芸術文化に関する会議	展覧会	展覧会表彰式	国際会議	教育学術会議	研修	その他の講演会	その他の会議	
	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件
3年 4月	－	2	23	24	－	－	－	2	－	23	74
5月	－	5	17	29	1	－	－	－	－	3	55
6月	－	3	27	11	－	－	－	－	－	22	63
7月	－	3	26	21	1	－	－	－	1	9	61
8月	－	3	14	25	－	－	－	4	2	29	77
9月	－	－	16	22	－	－	－	－	4	124	166
10月	12	6	14	54	－	－	－	－	－	138	224
11月	4	1	20	60	1	－	－	－	3	25	114
12月	－	2	37	52	1	－	－	－	1	17	110
4年 1月	1	26	20	34	－	－	－	－	－	12	93
2月	－	7	17	36	－	－	－	5	－	14	79
3月	－	5	25	35	3	－	－	－	1	12	81
計	17	63	256	403	7	0	0	11	12	428	1,197
構成比	1.4%	5.3%	21.4%	33.7%	0.6%	0.0%	0.0%	0.9%	1.0%	35.8%	100.0%
2年度実績	14	43	181	279	4	0	0	0	17	154	692

(注) 1 利用件数は、一つの催物が複数日にわたる場合には利用日数で計算している。
2 構成比は、全体に占める割合（%）を、小数点第２位以下を四捨五入して示している。

事業報告の附属明細書

令和 3 年度事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がありませんので、附属明細書は作成しておりません。